学校番号	１１５

平成３１年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年	１年
類型等	選択必修						
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字５書体、仮名の様々な作品を臨書(古典作品を真似して書くこと)し、その作品が書かれた背景を学び、筆者の心情などを追体験します。
・篆刻を学び、書作品についての幅を広げます。
・用具用材の違いによる表現の違い等を学び、自分らしい文字の表現ができるようになることをめざし、漢字仮名交じりの書について理解を深めます。

2　学習の到達目標

臨書・鑑賞・創作などの幅広い活動を通して、感性を高め、表現力を伸ばす。
生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意志に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ、表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	書写と書道(書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体、略式書体「天」の字を使った書体の変遷 ・さまざまな：篆書を使って書として表現されたものに興味を持つ	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ、表現を工夫している c:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している d:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている	観察 レポート ワークシート 提出作品

1・2	漢字の書	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・漢字一文字作品制作 ・漢字一文字作品表具 ・相互鑑賞会	○	○		○	a:五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美とその表現方法について感心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身につけ表している d:文字の成り立ちについて興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り。そのよさや美しさを味わっている	観察 レポート ワークシート 提出作品
2	篆刻(白文印)	・自分の名前調べ(各書体) ・姓名印制作	○		○	○	a:名前の各書体を調べ、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における文間布白(ぶんかんふはく)を理解し、表現を工夫している c:印稿づくりにおいて、小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身につけ表している d:さまざまな石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている	観察 レポート ワークシート 提出作品
2	漢字仮名交じりの書	・絵葉書 ・うちわ作成 ・カレンダー作成	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている	観察 提出作品
3	仮名の書	・仮名の臨書	○	○		○	a:仮名の美(連綿、散らし書きなど)について関心を持ち、表現や鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている b:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身につけている c:文字の成り立ちについて興味を持ち、代表的な仮名の古典を知りそのよさや美しさを味わっている	観察 提出作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:創造的な書表現の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。